

ひまわりだより

春日こども園
令和7年度 活動報告 NO.7



<正月遊び>

日本の伝承遊びに親しめるように、こま・すごろくなどの正月遊びをしています。こま回しでは、最初はひもを巻くことや回すことが難しく、戸惑う姿も見られましたが、繰り返して挑戦する中で少しずつコツをつかみ、今ではひもを丁寧に巻いて意欲的に取り組む姿が増えてきました。友達の回し方を見たり、「こうするといいよ」と声を掛け合ったり、自分たちで遊び方を工夫したりして、子ども同士の関わりも増えています。すごろく遊びでは、順番や簡単なルールを守りながら進める姿が見られました。時には自分の思いを伝えたい気持ちが強く出て、ぶつかる場面もありますが、保育者と一緒に話を整理すると、相手の気持ちに気づき遊びを再開する姿が見られます。今後も遊びの中で試行錯誤する経験を大切にしながら、自分の思いを伝え、相手を思いやる力に繋げていきます。



<大鍋>

にんじんの型抜きやこんにゃくちぎりを通して、食材のかたさや匂い、感覚の違いに気づき、感じたことを言葉にして友達と共感していました。「小さいお友達も食べるから小さくするよ」「お花の形喜ぶかな？」などと、食材に触れながら思いやりの気持ちが育っています。出来上がった豚汁を食べると、「あったかいね」「これ、私が型抜きしたにんじんかも？」と友達と話しながら、嬉しそうに食べる姿が見られました。食育を通して食べ物に興味をもち、みんなで食べる楽しさや作る喜びを味わう良い経験となりました。



<鬼の絵>

「自分のお腹の中にいる鬼」を思い浮かべながら、クレヨンで形や表情を描き、その上から絵の具で色を塗りました。クレヨンと絵の具の感触や色の重なりの違いを感じながら、「もっとこわくする」「この色にするよ」と工夫して表現していました。イメージを膨らませて描くことで、表現する楽しさを感じていました。



<なわとび>

自分で決めた目標に向かって、一生懸命練習しています。はじめは、「連続なんて無理だよ」とすぐに諦める子もいました。しかし、10回、20回と連続跳びをしている友達や、何度も挑戦することで出来る回数が増えていく友達の姿を見て刺激を受け、「〇回跳べるようになるぞ!」と、意欲的に取り組めるようになってきています。これからも、縄跳びの楽しさを感じられるよう一人ひとりに合った目標と一緒に立てたり、頑張る姿を認めたりしていきます。



<1月誕生会>

こま回し大会を行いました。保育室に大きなマットを広げ、1組の女の子と2組の男の子、1組の男の子と2組の女の子などとメンバーを入れ変えて行いました。「絶対勝ってみせる!」「頑張れ〜いけ〜!」と、保育室は子どもたちの熱気や声援で大盛り上がりでした。冬休み明けからたくさん練習を重ね、友達同士でも回し方を教え合ってきた成果が出ていました。これからも友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるよう、全員で遊べる機会を設けていきます。